

みなさんの疑問に答える！ 実川幸夫

Q 世界的規模での未曾有の大恐慌が進行しています。今の政治状況をどう分析していますか。(鎌ヶ谷市 Kさん 会社員)

A 今は民主党とともに日本の危機をいかに早く乗り切るかを模索しなければなりません。政権交代をするとかの論議よりもいかに国民の生活を守るかの論議が優先されるべきでしょう。私が政治の道を志したのは、日本を世界一尊敬され、繁栄する国にしたいと思ったからです。日本の憲法は第9条に代表されるように世界に尊敬される平和憲法をうたう国家ですから。戦後復興も国民が一丸となり、先進国へ駆け上がったのですからこの危機も国民が一丸となり、乗り切っていくと自負しています。

Q 自民党と他の野党ではどこが違うのでしょうか。(印西市 Sさん 主婦)

A 今の時勢、グローバルな視野を持った政党でなければ、政権担当能力はありません。そして、迅速な対応の出来る政権でなければ、後手後手に回ってしまいます。安倍・福田時代に学んだ教訓から、私は、時代の流れの速さに対応した政権を作らなければ、いけないのだと実感しています。ビジョンだけの政党では、今の難局を乗り切ることができないのだと思っています。国民の意思をすぐに反映できる政権をつくるのが大事なのです。たとえば土・日曜日の高速道路料金の引き下げは、地域活性化に結びつく大きな成果を挙げています。

Q 日本の農業についてどう思いますか。(富里市 Nさん 農業)

A 食料自給率が25パーセントでは、自立した国家とは言えません。有事や災害時に自国の食料は自国でまかなえなければなりません。農業を保護するというよりも国家的な支援で国際競争力のある農業を育成していきたいと考えています。新鮮な地元産品のブランド化にも力を入れています。

Q 教育についてどう思われますか。(白井市 Mさん 教師)

A これからの時代、世界との調和を図りリードしていくことが日本の役目だと実感しています。金融は世界経済と結びつき、日本の産業も世界が前線になっているわけですから。だから、日本が世界で尊敬される国になるためのグローバルな視野のある人材の育成にも力を注いでいかなければならないと思います。

Q 年金問題や社会保障についても不安がいつぱいです。(柏市 Yさん 主婦)

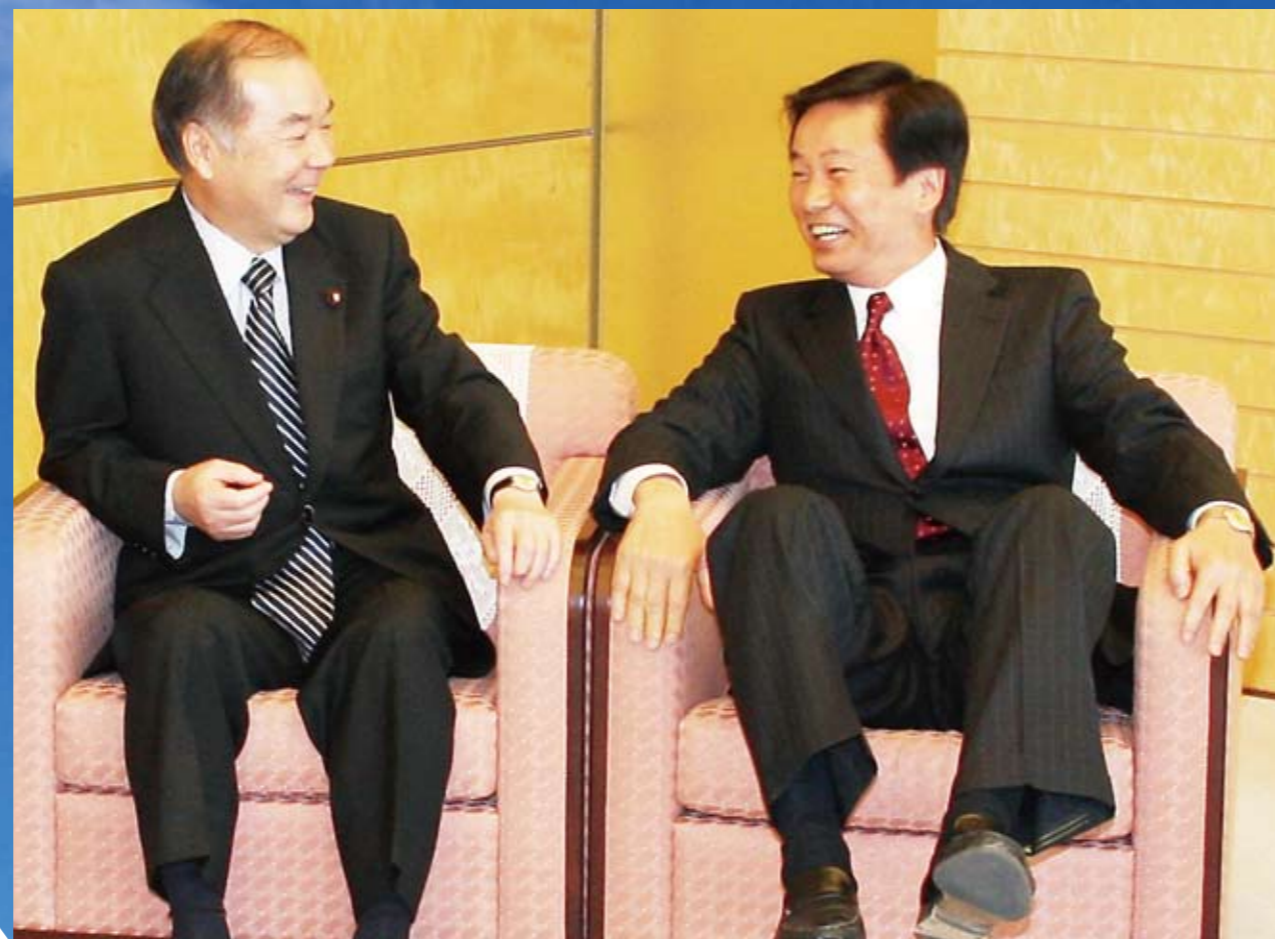
A 社会構造は大きな転換期を迎えようとしています。少子高齢化に向けた戦略的な長期ビジョンにより明日の繁栄をもたらす政策を持つ政党におまかせいただきたいと思っています。

Q 拉致問題についてどう思われますか。(白井市 Oさん 主婦)

A 北朝鮮問題では、深い関わりがあります。恩師山村新治郎の秘書時代からの因縁のようなものを感じています。6か国協議の中で北朝鮮への介入を孤立化させることなく進めているところです。

Q 実川さんの政治信条と今の自民党についてどう思っていますか。(酒々井町 Aさん 主婦)

A 麻生内閣を支え、希望の持てる国家の構築こそが使命だと感じています。二大政党制による民主的な政界を作る過渡期なのだと思っています。今必要なのは、迅速に国民の声を反映させることの出来る政党であり、国際社会の一定の責任の中、外交に長けた政党であり、長期的なビジョンの元、しっかりとした基盤のある政党をつくりあげることだと思います。



知事と千葉の未来を語る。



限りない可能性を秘めた千葉13区エリア

まずは、地域を活かすための基盤づくり!

千葉のポテンシャル! 森田知事と大いに語る

千葉のポテンシャルを訴えて選挙戦を戦った森田知事とこれからの千葉について語った。

高いポテンシャルを秘めながら活かさないのはなぜなのか。これは温暖な気候でのんびりとした歴史のなまめな地勢の悪さが大いに影響しているのではと話される森田知事。千葉の産業は、全国2位の農業や3位の漁業や多彩な観光資源。あまり全国レベルで知られることがなかったのはPR不足が否めないという。自ら広告塔となり千葉をPRしていくと熱く語ってくれた。

千葉13区のポテンシャルを發揮するにはまず、交通アクセス整備が欠かせないとの意見交換をした。首都東京から、わずかな距離にありながら、道路、鉄道網の整備が首都圏でもっとも遅れているのは明確であり、首都圏直結する交通網を整備することで、企業誘致による雇用の創出や産業の活性化が図られるのは事実なのだ。21世紀の千葉の発展は、国際空港の利便を高めてその

沿線をいかに開発していくかが焦点となった。平成22年の開通を目指す成田新高速鉄道は、都心と成田空港を36分で結ぶ。北総鉄道の運賃の改定は、新高速鉄道の運賃問題との連動が必定である。北総鉄道の運賃が値下げされれば、企業の進出で雇用が創出されたり、ベッドタウンとしての下支も高まる。新高速と平行して走る北千葉道路は、都心へ直結し、物流の大動脈となるはずで、北総台地の農産物の需要などが高まるという大きな経済効果をもたらすものとなるべく。東関東自動車道の酒々井インターチェンジの開通も北総の産業を飛躍的に発展させるものになるだろうとの認識で一致した。柏近郊での国道16号バイパス建設も、渋滞の緩和により首都圏の機能強化になりうるものとなるのだ。環境に配慮しながらこれらの課題をクリアする。まずは交通基盤の整備から着手したいと訴え、百万市民の結集を生んだ森田知事もこれらの課題の必然性に賛同していた。

